



トイレ&洗面台リフォーム 憧れをカタチに～

リフォーム時に考えたいこと

今と向き合う

理想を教えて

暮らし方の模索



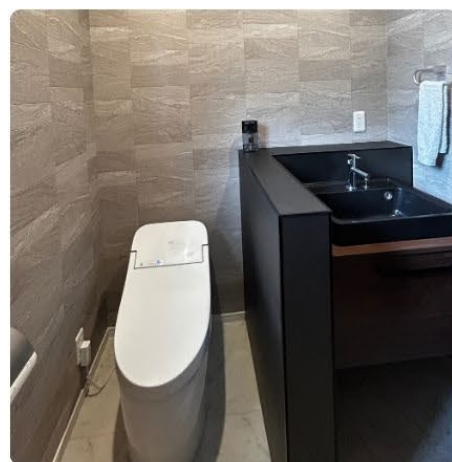
今の悩みは何？

施主様が気になっていたのは、洗面台の位置。廊下からも使いやすいようにトイレの外側に配置していたが、ドアを開けてからの手洗いが面倒に感じる。洗面台は、トイレ以外での使用頻度が少ない為、ドアの位置を変え使いやすくしたいと。トイレ本体は約一年前に取り替えたばかりなので、このまま継続して利用へ。



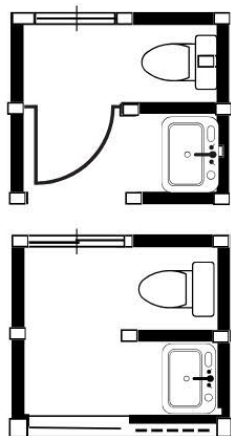
憧れは？

「理想のトイレはこんな感じです。」と嬉しそうに画像を見せてくれた施主様。トイレと洗面台を腰壁で分け、全体的な空間は広々。扉を引き戸にしたい要望もあり。施工前のトイレが一般的なタイプなので、今回の様な理想を伝えるのって難しい。情報の共有の為に気になる画像を準備していただいたことで、弊社もイメージしやすかったです。皆さんはこだわりたい配置や好きな配色・デザイン・機能はありますか？



使い勝手を考慮して

ご家族の利用状況や使い勝手も考慮して、理想の空間を話し合っ決めて。 「掃除がしやすいトイレがいいな！」と話す奥様。黒は水垢などが白い洗面とは違う形で気になる色。施主様の理想の配色は譲れないので、デザインを優先。鏡は必要になったら後から設置へ。紙巻き器は1つでいい！を採用。家族に合った内容にカスタマイズ。元の洗面台の電気配線を活かしてコンセントを設置。お互いの意見を交わして決めることで、こうしたい！が見つかったり、キモチの整理ができたりします。



施工前

施工後



代表 関 勇太

KITAI建築設計事務所

各ご家庭の困っている場所や状況に違いがあるように、こだわりたい要素も違います。シンプルに必要な最低限の施工で十分という方もいれば、リフォームするのなら、気になるところをまとめて頼みたい。という方もいる。 両者どちらの方にも、施工前より快適になった！気に入った！と思われる仕事をした。少しでも理想に寄り添えるように、皆様の夢や憧れ・ご希望教えてください。 今年の夏もかなり暑かったですね。施主様をはじめ、工事に関わっていただいた全体的に感謝いたします。

リフォーム工事

トイレの間取りを変えるべく、ドアや壁を解体。一度、便器を外して、腰壁の造作・洗面設置・床の増し張り・クロス張替え・紙巻き器などの取付・ドアは片開きドアから引き戸に変更。便器と窓・換気扇は、そのまま継続して利用。 かわいい雰囲気からカッコいい雰囲気に変身。壁だった部分が腰壁になったり、ドアの形状や位置も変わりトイレの空間が洗面所と一体化した分広くなりました。